

1 指定管理者名	社会福祉法人 多治見市社会福祉協議会
2 指定期間	平成28年4月1日 ～ 平成33年3月31日
3 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4 採点表		評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況 (10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%以上 5点	開館時間中(10:00～18:00)自由来館となっている	-		
						平均値比(●●%)=利用率(●●%)÷上記(1)、(2)又は(3)					
			②利用人数	5	平均値比(注) 105%以上:5点、105%未満～95%:4点、95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%未満～95% 4点				
						平均値比(98%)= H29年度利用人数16,845名÷H28年度の利用人数17,215名(上記(2)適用にする)					
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、仕様書に忠実:11～9点、仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、それ以下:2～0点	乳幼児対象事業(1年間にわたり月7回程度開催、計72回実施、延べ1,806名参加) 小学生対象事業(1年間にわたり月6回程度、計78回実施、延べ902名参加) 地域多世代間交流事業(1年間で5回程度開催、計5回実施、延べ854名参加) 中高生対象事業(主に夏休みに開催、計9回実施、延べ59名参加) 子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(1年間にわたり月2回程度開催、計31回実施、延べ449名参加)	仕様書以上 14点	・利用者からの要望が有り、6ヶ月未満児の乳幼児クラブを後期に立ち上げ母親同士の友達や居場所作りを確保した。 ・一輪車クラブは、一輪車検定に添って技の練習を指導し、高いレベルの技ができるようになった。 ・子どもスタッフの活動が地域で認められ、教育長賞詞をいただいた。 ・地域や色々な関係機関と連携し事業を行った。また、子ども達から地域の方に感謝状贈呈式も実施し、感謝の気持ちを持つ事ができた。 ・母親クラブ立ち上げに向けた事業を利用者と一緒に充実させ、30年度から母親クラブとして活動をしていく事になった。	14点		
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点、内容・事業数等が例年通り:11～9点、内容・事業数等が例年よりやや劣る:8～7点、内容・事業数等が例年より劣る:6～3点、内容・事業数等が例年よりかなり劣る 2～0点	乳幼児対象事業(1年間にわたり月6回程度開催、計58回実施、延べ997名参加) 児童対象事業(1年間にわたり月8回程度開催、計77回実施、延べ1,005名参加) 地域・多世代間交流事業(1年間にわたり月4回程度開催、計50回実施、延べ841名参加) 中高生事業(1年間にわたり6回開催、延べ126名参加) 子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(1年間にわたり計10回開催、延べ79名参加)	期待以上 14点	・子育て不安を持つ親、困り感のある子どもを対象に発達支援センターや保健センターと連携を図った事業を実施し、子育て支援を充実させた。 ・新規事業で地区社協連携行事を増やしたり、サロンとの交流を図り多世代交流の場を増やした。 ・地域の中から講師を発掘し、特色ある事業ができた。 ・社会福祉協議会の特性を生かした自主事業を行った。 ・中高生事業の自主事業を充実させ、次世代を担う子ども達の姿が見られた。 ・常に学校や相談員、地域と連携を図り、地域の子ども達や家庭の支援を行った。	14点		

評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する (適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	定期清掃・日常清掃 ・館内、館外毎日清掃している。 ・地域の方と一緒に館庭や建物周りの草刈を月に1回程度、植木の剪定を年に4回行っている。 また、児童と一緒に館庭の草取りを年に3回行いボランティア活動育成に繋げている。	適正 (普通) 2点	仕様書に定める回数を適正に実施した。	10点
			②保守・点検			電気工作物運動遊具の保守点検は委託により実施している 館庭整備の一部委託実施している	適正 (普通) 2点	法定点検、日常点検ともに適正に実施した。	
			③保安・警備			非常通報装置消防用設備の保安点検は委託により実施している。 夜間館内警備については委託により実施している。	適正 (普通) 2点	適正に実施した。	
			④小規模修繕			①トイレ水栓水漏れ修理(5,529円) ②洗面手洗い場幼児用踏み台修繕(3,000円) ③男子トイレ間仕切り部壁修繕(3,000円)④遊戯室照明交換(17,280円)⑤遊戯室排煙窓オペレーター修繕(8,640円)⑥遊戯室ガラス修繕(41,000円)⑦遊戯室出入り口木柵修理、幼児室天井剥がれシーリング修繕(40,000円) ①～⑦については、10万円未満であったため、仕様書の定めにより指定管理の負担で修繕を行った。	適正 (普通) 2点	修繕箇所が発生した場合は速やかに対応した。	
			⑤危険箇所の把握 (施設の瑕疵)			日常業務の中で危険箇所を把握し、速やかに対応している。 毎月1回職員による安全点検及び、業者による遊具点検を実施している。	適正 (普通) 2点	適正に実施した。 ・毎月1回職員での安全点検を行っている。 ・危険箇所がみつければ早急に対応し安全管理に努めている。 ・危機管理として、座卓の角に安全クッションをしたり、一輪車転倒防止として遊戯室の壁に手摺を取り付けた。	
		(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する (期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	文書目録に基づいて適正に管理した。	適正 (普通) 2点	文書目録に基づいて適正に管理した。	11点
			②環境への配慮			・多治見市の環境方針に準じ対応。使用済みの封筒の使用、個人情報に注意し裏紙の再利用、メールでの対応、資源ごみのリサイクルを配慮している。 ・飲食を伴う行事の時は、箸やお椀を持参してもらうなど、廃棄物の抑制に配慮している。 ・冷暖房・電灯をこまめに切る。冷房暖房は適正な温度に設定し環境に配慮している。 ・プールの水で水打ちをし、暑さ対策をしている。 ・ゴーヤを植栽し、室温の上昇を抑えるように取り組んだ。 ・工作材料はリサイクルや再利用に心がけ実施している。 ・昼休み時は消灯に努めている。	適正 (普通) 2点	適正に実施した。	
			③バリアフリー			・玄関の上がり口に手摺を設置。 ・車椅子が玄関から室内に入りやすいよう取り外しができる板を常備。 ・手話を学び、福祉施設に訪問し交流を深めた。	期待以上 3点	各種対応や啓蒙活動を実施しており期待以上	
			④備品管理			・備品台帳に沿って適正に管理している。 ・利用者には、大切に扱ってもらえるよう張り紙して周知した。	適正 (普通) 2点	適正に実施した。	
			⑤個人情報保護			・社会福祉協議会として「個人情報保護管理規程」を作成し適正に管理している。	適正 (普通) 2点	適正に実施した。	
		⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	事故3件 ①幼児親子が帰館した後、館庭のジャングルジムで遊んでいる最中に滑って転倒し、右目上を切り4針縫う。 ②館庭滑り台で遊んでいた(小2・女子)が滑り台中腹より転倒し、左手首骨折。 ③館庭で(中学1年・男子)がサッカーをして遊んでいる最中に犬走りでつまづき左手を突き、左手小指付け根を骨折。 ②、③は、児童安全共済保険で対応する。	事故なし・対応に不備なし 0点	社会福祉協議会内での事故報告はその都度行われ、今後の事故防止に繋げる体制をとっている。		
3	当該施設の経営状況 (5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	12,217,619÷10,938,829=112%	105%以上 5点	指定管理委託料の範囲内で適正に事業が行われた。	5点	

評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、適正(普通):7～5点、不備あり:4～1点	アンケートボックスを設置して随時意見を受け付けると共に、行事、乳幼児クラブ終了の際は、その都度アンケートを実施して要望に応えた事業を行っている。	期待以上8点	アンケート実施を行って要望に応じている。 ・家ではできないダイナミックな遊び(パラシュート、トランポリン、絵の具や小麦粉、泥んこなどの感触遊び、6ヶ月児未満の乳幼児クラブ立ち上げなど)に乳幼児クラブで反映させ対応した。 ・「AED研修がしたい」という利用者の要望より、北消防署にAED研修を依頼し実施した。 ・地域の方からの紹介で、地域の名人が講師となり、小中学生対象の将棋や百人一首大会を開催した。	8点		
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	特になし	苦情なし・適正(普通)4点	社会福祉協議会として第三者委員を設け、即時対応できるようにした。	4点		
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント (15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、適正(普通):11～9点、普通未満～物足りない:8～0点	・学校、地域組織や市の相談員や保健センターと適宜、連携・協力し地域全体での見守り、子育て支援に努めている。(小中学校教員が毎月1回来館し、子どもの様子や情報交換の場を設けている) ・毎週土曜日に地域の方が、ボランティアとして来館し子ども達と遊びながら見守っている。(第2土曜日には、市の相談員による出張子ども相談を実施している) ・子育て支援として、育児不安がある乳幼児を対象とした遊びの広場を発達支援センターや保健センターと連携を図り強化した。また、市が行っているワンバク広場に見学に行き、支援児親子対応の方法を学んだ。 ・親育ち4363事業を食育事業として展開した。 ・地域の有志の方と一緒に、館庭の剪定や草刈、溝掃除、館庭整備を随時行っている。また、子ども達と一緒に草取りや地域ごみ拾いを年に3回行っている。ごみ拾いをしながら、ハザードマップも作成している。 ・社会福祉協議会の特性を生かした事業を展開している。 ・同指定管理児童館で共催事業を行い、校区外の親子の交流や色々な体験ができる場を設けた。 ・講師を招いて実技研修(AED・支援児について)、職員研修(社協全体研修個人情報保護について・東濃ブロック研修・職員交換研修・発達支援センターへ支援児研修)を実施した。 ・毎月1回代表者会議、年に2回常勤職員会議を実施し、各館との交流・ヒヤリハットなど周知している。	期待以上15点	・家庭環境や行動が心配な幼児、児童は、学校や関係団体と連携を図り、早急な支援に繋がった。また、相談員、学校と「子ども支援会議」を実施し支援を強化できた。 ・なないろ広場に、保健センターとも連携を図って事業が進められた事で、市内の幅広い親子の支援ができた。また、保護者の育児不安軽減や集団活動が苦手な子ども達の支援に繋がった。 ・親育ち4363事業の食育を通し、親子で共感・共有できる時間が持て、家庭でのコミュニケーションを深めるきっかけができた。 ・環境整備に心がけた事で、安全に利用者が来館できる様になった。また、地域と連携し児童センター周辺の環境整備にも取り組んでいる。 ・総合福祉センター内の障がい者、老人センター、母子父子福祉センターとの交流を通し、福祉の思いやりの心を育てる事ができた。また、児童館合同事業では、近隣の児童館と交流会を実施し他地域の子ども達との交流を深めたり、公園清掃や多治見駅で募金活動等の経験からボランティア精神が高まった。また、行事を通し、達成感、自己肯定感が味わえた。 ・7館合同事業にファミリーの参加が目立ち、父親参加の足がけとなった。また、児童館を知らない方への周知にもなった。 ・職員研修を通し、個々の資質向上や学んだ事が事業運営の向上に繋がった。	15点			
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし	遅れ・不備なし 減点なし	すべての書類を期日までに提出した。				
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	特になし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施した。				
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				89点		
								全体的な評価 ・極めて良好な管理がなされている ・企画事業を積極的にこなしており、参加者数も増加している ・学校や関係団体と連携した対応を行っており評価できる		極めて良好	